

(資料 2)

## 檀原市 移住者に対するヒアリング調査

### 報告書

## 1. 調査概要

- インターネットアンケート調査（資料1参照）の対象者から協力者を募り、移住のきっかけ、検討の流れ、移住先を決めた経緯等について深堀して把握した。
- 調査対象はインターネットアンケートの回答者のなかでヒアリング協力意向を示した方から、子供有世帯を中心に選定した。ヒアリング対象者（8名）のうち、現居住地（移住先）が橿原市である方は6名、周辺市への移住者は2名である。
- その他、調査対象者一覧は以下に示すとおり。

【調査対象者一覧】

	現居住地 (移住先)	年代	性別	世帯類型	住まい方		実家
					移住前	移住後	
Aさん	橿原市	25～29 歳	女性	夫婦のみ世帯	賃貸	賃貸	奈良県外
Bさん	橿原市	25～29 歳	女性	既婚・子ども あり	持家 戸建	賃貸	五條市
Cさん	橿原市	55～59 歳	女性	既婚・子ども あり	賃貸	持家 戸建	橿原市内
Dさん	橿原市	60歳以上	男性	既婚・子ども あり	賃貸	持家 共同	桜井市
Eさん	橿原市	60歳以上	男性	既婚・子ども あり	賃貸	持家 戸建	桜井市
Fさん	橿原市	60歳以上	男性	既婚・子ども あり	持家 戸建	持家 戸建	大和高田市
Gさん	生駒市	30～34 歳	女性	未婚（パート ナーと同居）	賃貸	賃貸	大和郡山市
Hさん	桜井市	40～44 歳	女性	未婚（友人と 同居）	賃貸	賃貸	奈良県外

## 2. 調査結果

### Aさん（橿原市在住）

25～29歳女性、夫婦のみ世帯、京都（賃貸）→橿原市（賃貸）、実家は奈良県外

#### ■ 橿原市に転入した経緯

橿原市に転入したのは、夫と私の通勤が最も便利な所だったから。橿原神宮前駅周辺に住んでいるが、ちょうど私の職場（京都）と夫の職場（古市）への通勤に最も便利だったことと、近くにいろいろな外食の店があり、橿原神宮そのものが近いので、住む町としても便利だと思った。

大阪に住めば京都にも古市にも行けるかもしれないが、大阪は家賃が高いのではないかということもあった。私は慣れた京都沿線が良かったし、夫も元々奈良に住んでいたもので、奈良が良かった。

#### ■ これまで奈良に住んだ経験

私は初めて。夫は香芝市に住んでいた。

家探しをするまで橿原神宮前駅で降りたことはなかった。奈良に行くこともあまりなかった。夫は何度か来たことがあったようだ。

#### ■ 住まい探し

住まい探しで、実家との距離感を考慮することはなかった。私の実家は京都府舞鶴市で、仕事は京都市なので、距離を関係させると仕事ができなくなる。夫は香芝市に実家があるが、あまり考慮せず、通勤に一番便利な所を選んだ。

第一条件は駅から近いこと。2LDK以上で、長く住みたいので、あまり古くない所といった条件を少しずつ付けていった。最初はインターネットの家探しサイトで、どういった物件が良いのか、どういった間取りが良いかを見ていた。

実際に決めたのは橿原神宮近くの不動産屋の店頭。具体的にこの物件というところまでは決めていなかったが、どのようなタイプのアパートやマンションがあるのかというイメージは作っていた。実際に物件を見ないと決まらないと思いながら不動産屋に行った。物件はすぐに見つかったが、自分の条件に完全に合ったわけではない。ほぼ2択であった。不動産屋に「すぐに決まりそうなぐらい人気だ」と言われたのが決め手となり、すぐに決めた。

住まい探しで他に知りたかった情報は特にない。駅近で、物件自体が良くて、近くに飲食店やスーパーなどがたくさんあることが分かっていたので、物件そのものを見て決めた。

#### ■ 橿原市に住んでみて

橿原神宮をあまり知らなかったが、正月三が日にここまで人気がある神宮だったのかと、改めてびっくりした。人があふれる、人気がある所なのだと思った。

周りの町の様子も騒がしいわけでもなく、いろいろな通りを少し外れて行けば隠れたレストランや個人店があつたりして、1～2年経ってもたくさん楽しめる所がある町だと思う。

休日は、たまに自転車に乗ったり、二条山に登ったりしている。割合と町の方に出ている。自転車で奈良健康ランドなど、その辺りをフラフラする。奈良県は「ならクルマップ」という、自転車のおすすめルートを教えてくれるものがあり、それに沿って行ってみようかという話もしている。明日香村へも行った。

#### ■生活での困りごと

強いて言えば橿原神宮に限定すると、思っていたより飲食店が少ない。大和八木や新ノ口まで行くと非常にたくさんあるが、1～2年経つてくると、行ける飲食店がある程度固定化すると思った。

#### ■今後について

このまま特に通勤などの問題がなければ住んでいきたい。橿原市の嫌だと思ふようなところは、今のところ特にない。住宅自体も気に入っているので、良いと思っている。

たまに知り合いを作りたいと思うことがある。大学時代に少し弓道をしていた。近くに弓道教室があるので、新型コロナが収まれば行ってみようかと思っている。

#### ■橿原市について

住宅の家賃は、安い所は本当に安いが、駅近はそこまで安くはない。こだわりを少しずつ捨てていけば、少ない家賃で暮らしていける良い所だと思う。大阪のどこと比較するかによるが、結果的にそこまで得したとは思っていない。今の住居は2LDKで8万円くらい。

自分の居住地の決め方が「仕事などに便利な場所」なので特に勧めることは無いと思うが、橿原市に住むことで場所的なメリットがあるのであれば友人に橿原市をお勧めすることもあると思う。

#### ■橿原市のPR方法

具体的な方法は思いつかないが、奈良県のPRは大人しい感じがする。大阪や京都は自分でもPRするし、既に知っている人たちからの口コミが多いと思う。感覚的な話になるが、奈良県は「来たければ来れば？」という、待ちの姿勢のイメージがある。一定の、古墳好きとか神宮好きという方々は来るので、それである程度成り立っているとは思いますが、もう少し外部にPRしていてもよいのではないか。

#### ■移住の支援策

相談窓口は便利だと思うが、そういうものがあると知る人は非常に少ないのではないか。

市のウェブサイトはだいたい情報量が多くて見にくいと思うので、一般の人が見るようなSNSなどで発信することが大事だと考える。町のおすすめ情報などを知りたい。奈良県のことあまりわかっていない人からすると、調べはするが、実際に人から聞けることが少ないので、住む場所を選ぶ際に気軽に相談できるような所があればよかったと思う。

対面だと、その場所まで行かないといけないため、インターネット上などで聞ければいいと思う。

## ■よく利用する情報媒体

私はスマートフォンでツイッターをよく見ている。本を読むのが好きなので、基本的に文字媒体が好きである。友人などはインスタグラムが全盛期。今は情報過多で、取ろうと思えばどのような情報でも出てくる時代なので、自分から檀原市の情報を取りに行くのは労力がかかるので、今見ているメディアの中に流れてきたらよいと思う。

「檀原市」というキーワードで検索してヒットしたウェブサイトは見たことがある。市役所のウェブサイトを見たのは引っ越してきてから、住民登録などの手続きをする段階になってから。今のところ、教育や子育て等で気になっていることは何もない。

## Bさん（檀原市在住）

25～29歳女性、既婚・子どもあり、五條市（持家戸建）→檀原市（賃貸）、実家は五條市

## ■檀原市に転入した経緯

実家は五條市。就職を機に檀原市に引っ越してきた。実家からだ職場が遠い。

職業は公務員。家族（夫と0歳児）で檀原市に住んでいる。現在は育児休暇中だが、それまでは車で通勤していた。

## ■住まい探し

不動産屋に直接行った。ペットを飼っているので、檀原市内でペット可の物件を探した。檀原市内であればどの町でもよかった。不動産屋はすぐに何軒か紹介してくれて、その日のうちに内見に行った。結局2日ぐらい内見に行って、そのうちの1つに決めた。不動産屋は1箇所で済んだ。檀原市内に決めたのは車通勤のしやすさが最大の要件。

夫は天理市で勤めている。今住んでいる家が24号線沿いなので、車で通勤しやすい。夫は元々大和高田市に住んでいたが、結婚を機に自分が住んでいた家（檀原市）に来た。住まいは家族向けではなく、ペットの部屋を作りたくて選んだもので、2LDKを借りていたので、ペットの部屋を夫の部屋に替えた。

物件を探す際に、新しい物件を希望したが、「新しくしてペット可の物件はない」と言われたため、今は中古の賃貸に住んでいる。住んでみれば問題はないが、気分的には新しい方がよかったと思う。

#### ■ 檜原市に住んでみて

現在、檜原市十市町に住んでいる。住みやすさの点でいうと、五條市は田舎だったので、かなり楽であると感じる。子ども用品を買いに行こうと思っても、五條市では実家から 30 分ぐらいかかる。今は 5 分ぐらいで買いに行ける。子どもに急に何かあってもすぐ買いに行けるのはありがたい。遅くまで開いている店もある。

実家の五條市は、児童館のような、児童が集まる場所がなかった。檜原市は大きな所がある。新型コロナの関係でまだ行けていないが、そういう所でいろいろな人と関わればよいと思っている。

子育て拠点多く、住んでいる人が多いので、子育て世代がたくさんいる。情報収集の点でも良いと思う。

#### ■ 生活での困りごと

道路が混むことには困っている。特にイオンモールの辺りが混む。現在の家から実家に帰るには絶対にアルルの前の道を通らないといけないので、時間帯を間違えると実家に帰るのがとても大変。檜原市から五條市に行くには京奈和自動車道を通る。24 号線の中和幹線を京奈和自動車道沿いに出る。細い道はあるが、車が SUV で大きく、細い道を通りたくないなので大通りを通るが、皆大通りを通りたがるので、車が動かなくなる。正月は特に混む。今の時期は、県外ナンバーがよく来る印象である。イオンモールに行くと和泉ナンバーや京都ナンバーがちらほらしていた。

保育所はあるがなかなか入れない。待機児童はかなりあると聞く。保育所の応募をしているが、まだ通知が来ない。周囲でも、「檜原市は保育所に入れない。0 歳児は特に厳しい」と聞く。

#### ■ 今後について

既に、檜原市内(南部の和田町)の分譲地を購入し、現在、家を建築中である。各区画とも売れているようである。家を建てるなら、高校の後輩が勤務するハウスメーカーにしようと考えていたので、そのハウスメーカーに「檜原市で、希望予算で、住宅地」の条件を伝え、紹介してもらった数件の中から選んだ。檜原神宮前駅から徒歩 15 分。今の住まいも最寄り駅から約 15 分で、通勤に自動車、バイクを使うので、それほど不便ではない。

家を購入する際に、夫が、「子どもの通学路に車が入らないところがよい」と言っていた。檜原市は便利な反面、車が多いため、ペットの散歩にもよさそうな郊外の和田町に決めた。

引っ越し後は、子どもを保育所に連れて行くので（家と職場の間にある保育所希望）、車で移動する予定である。勤務先に託児所があるが、職場以外との関係も作りたいたいと思っている。保育所に入れなければ、来年まで育児休暇が取れる。入れれば、今年 6 月に復職したい。

#### ■ 檜原市について

学生の頃は電車移動していたが、五條市は 1 本乗り遅れたら 1～2 時間後しか電車が来ない。檜原市は 15～20 分待てば次の電車が来るので、すごく便利。

イオンモールがあるのが一番評価が高い。あそこには何でもある。

奈良県で一番大きい病院が橿原市にある。救急もしっかりしているし、何かあればすぐに医大に相談できる。橿原市の医療環境は他市に自慢できる資源だと思う。一次～三次まで全て揃っている。ここまでしっかりしている所は、奈良県内では少ない。

ショッピングモールなど、派手な所もあるが、橿原神宮など、一歩中に入れば歴史的なことを学んだり見たりできるのは非常に良い。歴史的資源があることは、若い人にとっても魅力だと思う。

何年か前に橿原神宮でプロジェクションマッピングをしていたのを見に行ったが、若い人が多かった印象がある。プチコンサートなどもあって、見に行ったりしたが、そういったものがあればよい。若い人はプロジェクションマッピングやイルミネーションが大好きなので、見に行くのではないかと思う。

橿原市は人が多いのが良いと思う。五條市だと、歩いていても人に会わないことが多い。犬の散歩をしていても、一切誰にも会わず、一言もしゃべらずに1周回って帰ってくることが多かったが、橿原市だと散歩をしていたら絶対に人に会うので、挨拶だけでもする。特に今は産休で家に引きこもっていて、人としゃべる機会がないので、ちょっとした声を発する機会があるのは良い。

#### ■ よく利用する情報媒体

保育所の相談は最初は市役所の窓口に行った。保育所の場所、定員などを聞き、見学に行った。

奈良県のイベントなどは県や市の広報紙を見るが、買い物は情報を調べずに現地に行って楽しむ。

インスタグラムを一番よく見る。インスタで100均、300均の子育て便利グッズなどをよく探す。

橿原市での生活（自治会、仕事など）について教えてくれる窓口があればよい。家を購入した先では、住み始めてから自治会への加入の話があると聞いている。

Cさん（橿原市在住）

55～59歳女性、既婚・子どもあり、尼崎市（賃貸）→橿原市（持家戸建）、実家は橿原市内

#### ■ 橿原市に転入した経緯

平成17年4月（16年前）に引っ越してきた。それ以前は、平成3年に結婚して以降、尼崎市（最寄り駅は阪急武庫之荘駅）に14年間住んでいた。引っ越したときは、夫と長女、長男の4人家族で、長女が中学に上がるタイミングだった。

夫の勤め先が、阪神間（伊丹市、池田市）から京都府（向日市）に変わり、尼崎市からの通勤が、乗り換えが多く移動しにくくなった。橿原市を選んだのは、橿原市から向日町まで近鉄京都線で通勤しやすく、時間的に変わらないことが第一の理由である。近鉄の大和八木駅から、大阪、名古屋、京都への交通の便がよいことも理由の1つである。

橿原市を選んだもう一つの理由として、静かなところに住みたいという思いがあった。実家が橿原市なので将来的にも安心だと思った。

#### ■ これまで奈良に住んだ経験

自分が小6から結婚する27歳まで橿原市に住み、中学は橿原市内、高校は大阪市内で、どんなところかは分かっていたが、夫の勤務先の関係で尼崎に居住していた。実家は今も橿原市内である。

夫は鹿児島県出身で、橿原市には縁がなかった。

#### ■ 住まい探し

スマートフォンがない時代で、尼崎市の家でネットはつないでいたが、まだ不動産屋がHPをあまり活用している時代ではなかったため、実家では折込広告を集めておいてもらい、不動産屋には「よい物件があれば教えてほしい」と依頼していた。

夫の勤務先が京都府（向日市）に変わったことで物件を探し始め、長子が中学に上がるまでに引っ越ししたいという思いがあった。当時、地元の友達や姉（橿原市在住）から、「耳成西小学校、橿原中学校の教育環境の評判がよい」と聞き、その校区限定で探したため、範囲が狭く、物件が見つかるまで6年弱かかった。引っ越してから、同じように校区限定で探した人が他にもいたことを知った。その校区が飛びぬけて良いというより、平和だった。当時は学級崩壊が言われ出して何年か経っていた頃なので、静かで落ち着いた環境がよかったことに加えて、高校受験のことを考えて選んだ。

今の住まいは、不動産屋から18区画の開発があると連絡があったもので、現状が駐車場の状態で好きなように建築できる物件だった。4番手だったため、土地の大きさから選ぶことができた。不動産屋と長い付き合いになったので、親切にしてもらって早めに情報を聞いたので、希望の家を作ることができた。

#### ■ 橿原市に住んでみて

希望の校区だったからというわけではないと思うが、勉強、部活動共に問題なく平和に過ごせ、自分なりによかったと思っている。

商業施設はイオンモールがある。歴史遺産が多いため、子どもが小さいときは、休みの日に歴史の



勉強がてら、飛鳥のほう（法隆寺、東大寺など）に行っていた。自転車で行ける先がいろいろある。子どもが小さいうちは覚えていないかもしれないが、そのような経験をすることで、見る視点が変わってくると思って連れていっていた。

引っ越してきたときは、自分が小さい頃知っていた橿原市とは違って都会になっていたが、自分たちの住まいは静かなところである。

橿原の良いところは、のんびりして住みやすいこと。尼崎では、自宅の前が4車線の道路だったので、朝は大きなダンプカーがアイドリングして地響きがすごかった。

## ■ 今後について

長女は、「子どもの通学を考えると、大阪、京都、名古屋に行ける橿原市の交通の便は最強」と言っている。

姉の子どもが、3年前に子育ての時期に橿原市に家を購入して引っ越してきている。長女に子どもができれば子育てのサポートをしたいが、長女の夫の勤務先が愛知県内なので、今の仕事では将来的に橿原市に住むのは難しい。

## ■ 橿原市について

尼崎市は人口が多いため公園や図書館が多く、支所のような図書館が徒歩圏内にあったが、橿原市は少ない。自分は本が好きなので、子どもが小中学生の頃は毎週、図書館に行っていたが、車で行かなければならなかった。距離があり、大きな車道を渡らなければならず、子どもが自転車で行くのは危ないため、家族で車で رفتり、自分が1人で行って子どものために借りてくることが多かった。

住宅地開発に必要な開発公園はあるが、尼崎市の家の近くにあったような、バラが咲いていたり、水路があるような公園がない。

橿原市の水道代が高い（上下水道共に）。4人で住んでいるときは、それほど使っていないものの、毎月2万円以上だった。尼崎市は水道代が安かった。

他所と比べるようになって、奈良県は夏は暑くて冬は寒いことが分かった。約8年前に長女が奈良市の大学に通っていた際に、様々なところから来ている友人に聞いて、奈良は暑く寒いことが分かった。

## ■ 同窓会

同窓会の情報は、クラスに幹事をする人がいるので、今もたまに来る。孫をもつ友人が多いため、同窓会の連絡を受けて情報を得られれば、橿原市に戻ってくる1つのきっかけになるのではと思う。

Dさん（橿原市在住）

60歳以上男性、既婚・子どもあり、橿原市（賃貸）→橿原市（持家戸建）、実家は桜井市

#### ■ 橿原市に転入した経緯

昭和61年に結婚し、橿原市に居を構えた。橿原市を選ぶ理由として2つあり、1つは橿原市が妻の結婚前の居住地だったこと。2つめは、教育レベルが比較的高いということ。

結婚して最初に住んだのは旧・見瀬町（現在の白橿町）の賃貸。最寄り駅は近鉄南大阪線（吉野線）の岡寺駅。

平成12年に現在の家（橿原市白橿町）を購入した。同じ白橿町内で、約500mしか離れていない場所へ引っ越した（最寄り駅も同じ）。同じ小学校区内の戸建中古住宅に転居した。

現在の家族構成は夫婦2人だが、当時は、長男（中学生）、次男（小学3年生）、長女（6歳ぐらい）の5人家族だった。長男と次男が少年野球をしていたので、非常に狭い範囲で家を探した。

#### ■ これまで奈良に住んだ経験

生まれは桜井市。

私の父は既に亡くなっているが、母は車で約10分の高齢者入所施設にいる。

#### ■ 住まい探し

中古住宅を購入したときは、近くの不動産屋を訪問した。小学校区内（白橿町5～8丁目）という、非常に限られた地域で探したが、たまたま見つかった。妻も納得してくれたので決めた。探し始めてから短期間で決まった。

#### ■ 橿原市に住んでみて

住みやすい、便利が良い。大阪へのアクセスが非常に良い。場所にもよると思うが、1時間くらい、電車では40分くらいで大阪阿部野橋に行ける。

不満に思う点はほとんどない。大阪に勤めていたので、交通の利便性、周辺の環境は満足できた。車は必要だが、買い物にも便利。田舎ではないし、都会でもない所が良い。

通勤時間は大阪市内までなので、大阪府内での転勤はあったが、どこも遠くても1時間20分くらい。車で通勤していた時期もあった。そのくらいで通える所ばかりだったので特に問題はなかった。

学校教育に関して、教育レベルが比較的高いというのは、妻から聞いた。3人とも安定しているし、親としては満足している。

近くに大きな公園がある。歩いて約2～3分。今でこそ遊具は結構撤去された様子だが、当時はたくさんあった。当時は犬を飼っており、休日は子供と散歩に行っていた。公園のトイレ一つとっても、水洗のすごく良いトイレが完備されている（全ての公園ではないが）。使う人のマナーも良い。

古い住宅地、昭和30何年に開発された橿原ニュータウン。戸建住宅や集合住宅、県住・公団住宅もある。戸建は年配の方が多く、夜は静かで、知らない人がうろつくこともないので、防犯面でも良い場所ではないかと思っている。

観光地にはあまり興味が無い。今井町や藤原京跡は行ったことがあるが、どこにでもあるような所

なので、自慢できるというほどではないように思う。

#### ■ 今後について

檜原市からの転出は考えていない。

車でドライブが好きである。最近は外出を極力控えている。家の中でテレビを見たり、パソコンを組み立てたりするのが好きである。

長男と次男は公務員。長女は看護、医療関係と、3人とも就職している。長男は結婚し、孫も生まれた。息子夫婦は大和八木駅周辺の賃貸に住んでいる。

夫婦の健康が先々心配。今は、普通に生活する分には特に問題ない。長男も檜原市内に住んでいるので、何かあればすぐに来てくれる。家の老朽化が気になっている。中古住宅なので、手入れをきちんとしていかなければいけない。

#### ■ 檜原市の住宅

檜原市は子どもが少なく、出生率も少ないと聞いている。高齢者夫婦が多いので、若い人に来ていただきたい。

我が家の2軒隣の方だが、昨年、両親が住んでいた隣の家が売りに出されたので、娘夫婦が購入して、改築して住んでおられる。もう少し離れた所では、不動産屋が中古の戸建住宅を建て替えて、若い夫婦が購入して住んでいる。その子供は小学生ぐらいの女の子。

私の自治会の班はそういった状態で、人が頻繁に入れ替わるような所ではない。たまたま空き家が出たので入られるというケースがほとんど。

所有者はいるが空き家になっている家もぽつぽつとある。白檜町は建蔽率が40%しかなく、容積率も60%と低すぎる。土地が広くないと大きな家が建てられない。新築しようとしても、土地が60~70坪あればよいが、狭い土地であれば小さい家しか建てられない。それがデメリットの一つ。余裕はできると思うが、70~100坪あるのであれば二世帯住宅も建てられるが、更地に新築する場合も建て替える場合も、その辺りが非常に大きなデメリットである。家を売るにしても建築基準が厳しいので、購入に二の足を踏むことはあると思う。

#### ■ 地域行事

桜井市に住んでいたときは特に自治会活動はなかったが、白檜町に来て初めて大きな自治会があって、催し物、花火や盆踊り、クリスマスのイベントなどを、年配の方が主導でやってくれている。輪番制で自分も自治会長をしていた時期もあるが、人とのつながりが密接で、自治会活動も盛ん。人とのつながりが非常に強固な町である。

男性は仕事をしていて昼間は留守なので、奥さんが自治会活動に積極的に参加している場合も多い。私が自治会の班の会長をしていたときは男性も積極的に来てくれていた。私は今61歳だが、私が一番若いくらい。男性は私より年配の方が多い。

自治会活動が非常に盛んなことについて、抵抗感がある人もいるかもしれない。周囲の人との関わりが苦手な人や、地域の行事や役員などを嫌う人もいると思う。若い方々が移住するにあたっては、逆にデメリットになり得る。昔ながらの地域の住民とのつながりを大事にしてやっているが、20~30代の若い人が転居してこられた時に、地域の人と関わりを持って参加してくれるようになればと思う。

Eさん（橿原市在住）

60歳以上男性、既婚・子どもあり、入間市（賃貸）→橿原市（持家共同）、実家は桜井市

■ 橿原市に転入した経緯

以前は埼玉県入間市に住んでいた。職場は池袋。大阪市内に転勤になり、25年近く前の3月頃に、橿原市に引っ越して来た。

転勤であちこちに住んだが、出生地が奈良県桜井市で土地勘があり、新築マンションの情報を得たので、橿原市に決めた。

橿原市を選んだのは、交通の便がよく大阪、京都、名古屋に行くのに便利だから。橿原市は人口が増加しており、イオンモールやスーパーの進出の計画も知っていて今後発展すると思った。最寄り駅が橿原神宮前駅で、橿原神宮が徒歩10分にあることが気に入った。交通、住環境、橿原神宮の3つの点でよいと思った。

転入当時、結婚して子どももおり（当時小学校5年と3年）、教育環境も中くらいだと思った。畝傍中学校がベランダから見える。橿原市は、教育環境を売りにしている市ではなかったと思う。

■ これまで奈良に住んだ経験

出生地が奈良県桜井市である。

#### ■住まい探し

身内からマンションの計画があることを聞き、資料を取り寄せて決めた。他の物件もいろいろ見て、決めるまでには時間はかかった。

出身地の桜井市や、大阪から移り住んでいる人が多い新興住宅地の香芝市も候補だった。香芝市は、近鉄で大阪方面に出るのがもっとも便利だが、駅近くは高く、駅から離れると最寄り駅までバス移動というところが多く、通勤時間がかかりそうだった。教育はよいが、当時はスーパーなど買い物利便性も低かったように思う。

マンション建設当初は、ポツンとマンションがある環境だったので、ごみ収集日が周知されていないなどの問題があった。今は近くにマンションも多く建ち、まったく問題ない。

#### ■橿原市に住んでみて

住まいを探している頃はスーパーもあまりなかったが今は激変している。住んで満足している。

橿原神宮が近くにあるので、境内を利用した無料コンサートなどイベントが多い。

橿原神宮の近くに、県立のグラウンド、野球場、体育館があり、大きなスポーツ拠点にもなっている。選抜高校野球の予選場所なので、よく見に行く。

散歩する場所にも困らず、よい場所である。健康維持も兼ねて、毎日30～1時間くらい歩ける。子どもが小さい頃は、橿原神宮周辺の公園に遊びに行けてよかった。

マンションの住民だけの自治会があるが、周辺地域の人との関わりはあまりない。当初は子どもが小学生だったので、元々地域に住んでいる人の子ども会に入れてもらっていたが、周辺にマンションが建つようになると、周辺の人だけで固まるようになり、今は、自分の住むマンションか同じ町内だけで固まるようになっている。自治会同士の交流はほとんどない。行政はどのように思っているのかと思う。つながりを生むような働き掛けがあってもよいのではないか。

#### ■今後について

橿原市に引っ越してきた後に仕事を辞めて大阪市内の別の会社に勤め、定年後も非常勤で働いており、車で通勤している。

2人の子どもは結婚して独立している。長男は横浜にマンションを購入後1年で、仕事で韓国に住むようになった。橿原市には帰って来ないと思う。

次男は、大阪、和歌山、姫路、名古屋と転々としていたが、その子ども（孫）の小学校入学前に住居を定めることとし、祖父母のサポートが得られるということで、2年前に徒歩約20分のところに引っ越してきた。最寄り駅は橿原神宮前駅。こちらからは一切何も言わなかったが、子どもたちで引っ越しを決めて、物件も自分たちで探した。かなり前に開発された大きな住宅街で、空き家になっていた中古物件を更地にして新築した。すぐ近くに小学校がある、よいところである。

#### ■橿原市について

住環境（自然環境、医療機関）、商業施設、交通公共機関の便の良さが魅力である。医療は、住環境の中でも大きなウエイトを占めるが、医大もあり、第1次から3次まですべて揃っている。

県下でも有数のイオンモールがあり、その隣に広大な土地が余っていて、アウトレットの計画があるらしい（今はコロナ禍で中断しているよう）。県の中和地域では、商業環境は奈良市よりよい。

大阪の人にとっては、隣接する香芝市は取っ付きやすく住宅地としてはよいと思うが、実際に住んでみて、橿原市をお勧めしたい。橿原市内で住むのにおすすめの場所としては橿原神宮周辺があげられる。大和八木駅周辺も交通の便がよく商業施設も多いのでよいと思う。橿原神宮前駅周辺の土地価格は上昇基調にあると聞く。駅から徒歩圏内に一戸建ての開発の動きがあり、小さい子どもをもつ家族が早い者勝ちで購入しているようだ。

#### ■ 起業創業について

機会があれば、社会保険労務士等の資格を活用して事務所を開設したいと思い、かねてからリサーチしていた。商工会議所には相談に行っていない。仕事柄、社会保険労務士事務所を開業している友人もいたので、そこでリサーチした。クライアントを見つけるために商工会議所の会員になる社会保険労務士もいた。事務所を借りる際の家賃の相場やOA機器のリース代などのシミュレーションはしたが、金融機関への融資の相談までには至らなかった（金融機関に行く前にあきらめた）。

事業として成り立つ見込みがなく、起業をあきらめた。橿原市は大阪と比べると事業所数が少ないため、新規参入でクライアントを集めるのが大変である。大阪で起業しても2～3年は食べていけないと聞くため、結局非常勤で勤めることになった。

橿原市内で起業して事務所を構えるなら、駅周辺（大和八木駅、橿原神宮前駅）がよいと思う。

#### ■ よく利用する情報媒体

昔は書店に行って紙媒体で情報を探し、起業についても、最初は書店で情報を集めたが、徐々にネット検索に変わってきた。仕事に関する情報も、書物よりネットで自分で探す方が便利で早いので、今はフル活用している。ツイッターは経済的なテーマのものをよく見ている（発信より、見るが多い）。Instagramは少しやったが、今はほとんどやっていない。

Fさん（橿原市在住）

60歳以上男性、既婚・子どもあり、大和高田市→橿原市（賃貸）→橿原市（持家戸建）→橿原市（持家戸建）、実家は大和高田市

#### ■ 橿原市に転入した経緯

結婚を機に1986年に大和高田市から橿原市へ移住してきた。近鉄の新ノ口駅から近い一戸建ての団地である。姉がその団地に住んでおり、結婚に際して家を探していたら、姉から「橿原市は、奈良県で2番目に人口の多い市で近鉄百貨店や近くにスーパーもあって住みやすい」と紹介されたため、この団地内の借家に住み始めた。その後、同じ団地内で2回引越した。

閑静な住宅地で新ノ口駅から自転車や車で近鉄百貨店に行けて便利でよいと思っていたら、結婚後3～4年くらいで（娘が2歳くらいのとき）、同じ団地内に建売が出たので、購入して引っ越した。

購入した建売の南側に広い土地があったため、13年前（2008年くらい）に、さらに家を建てて引っ越した。

#### ■ これまで奈良に住んだ経験

出身が大和高田市で、結婚するまで住んでいた。妻の実家は田原本町である。

#### ■ 住まい探し

橿原市を選んだのは、姉が住んでいて買い物などが便利だと教えてもらったことと、自分の実家（大和高田市）と妻の実家（田原本町）の真ん中くらいで、何かあった時にどちらに行くにも便利だと思ったからである。

マンション等も考えたが、姉に紹介してもらった借家が広いので、住んでもよいと思った。奈良市内の勤務先であったので、新ノ口駅から電車で1時間かからずに通勤でき、環境も静かで住みやすいと思った。

団地内で家を建てているところが何か所もあり、同じ団地なら生活が変わらないため、親の援助も得て建売を買うことにした。

その後、南側に70坪くらいの日当たりのよい空き地があり、その東南に公園もあり、よいと思ったら、2008年に不動産屋から売りに出たことを聞いた。「もっと広い家に住んではどうか」という親の勧めもあり、購入して建てた。不動産屋は、「近隣の人の方が話に乗ってくれそう」ということで、近隣の人に声を掛けるらしい。価格は高かったが、親に援助してもらって取得した。親は、家を購入した直後に亡くなった。

#### ■ 橿原市に住んでみて

橿原市は交通の要所で、交通の便がよいので活動しやすい。下の男の子は、神戸の大学に自宅から通った。特に、新ノ口駅からは大和八木駅を経由して大阪に行くのに便利がよい。勤めてからもしばらく大阪に通っていた。その後は1人暮らしをするようになった。駅から約700mなので、家から自転車で駅まで行け、徒歩でも10分強である。職場に行くにも電車を利用しやすい。

近鉄百貨店や大きなスーパーがあり、買い物が便利である。

小中学校が近く、子育ての環境はよかった。橿原市の学校教育は普通だと思う。子どもは公立高校（奈良県立郡山高等学校）に行っていたが、大阪に比べてのんびりしているので、落ち着いた環境でクラブ活動もしながら自分のペースで勉強できたようである。八木にある子どもの塾への送迎も苦労なく行え、教育環境はよかった。

自然環境もよい。休みの日は、子どもが小さい頃は、夏に橿原市民プールによく行った。奈良県は公園が多く、近くの広陵町にある県営や町営の公園にもよく行った。今も、孫（次女の子ども）を連れて広陵町の公園によく行く。

休日はジョギングをする。奈良マラソンに何回か参加した。映画館があるので映画も見に行く。今は空き家になっている親の実家の片づけ（草刈りなど）をして処分の仕方を考えたりもしている。

団地内の近所づきあいでは、皆、仲良くしている。もめ事などは聞かない。団地の自治会活動（6ブロックに分かれている）があり、交代制で10年前にブロック長を務めたことがある。

#### ■ 今後について

長女、長男、次女がいる。

長男は名古屋で勤めている。

次女は結婚後も、橿原市内の自分の家の近くに住んでおり、孫がよく遊びに来る。同じ団地ではなく、自分の家より八木に近いところに住んでいる。最初は夫婦でいろいろなところを探したようだが、夫の実家の商売に通うにも、橿原市が便利だったようである。次女の家から近鉄百貨店までは徒歩で行ける。

#### ■ 橿原市について

橿原市は人口12万人くらいで規模がそこそこ大きいので、学校や買い物など生活面が便利で毎日過ごしやすい。橿原市に対する不満はなく、特に要望はない。

生駒市は山手で坂が多いため、毎日の生活を考えると厳しい。

奈良市は、学園前などもあるが、駅までバスを利用しなければならないのは辛い。

出身の大和高田市は16平方キロメートルくらいと土地が狭く、商業のまちで商店が多いため土地を探すと、周辺部にならざるを得ない。昔は大和高田市のほうが発展していたと思うが、橿原市は面積が広く開発するところが多いため、徐々に軸が橿原市に移り発展している。土地が広いので、様々な施設が建てられ、住宅開発が進んでいる。

SNSなど様々な媒体を活用して、「橿原市は田舎でのんびりしているので、落ち着いた生活ができる」ことを発信すればよいと思う。

駅に近いところに住んでいるので便利だが、橿原市は広いので、場所によっては交通の便が悪いところもあると思う。市内でコミュニティバスを求める動きがあるようである。

#### ■ よく利用する情報媒体

ネットが中心である（Yahoo!で検索）。インスタグラム、ラインもやっている。仕事ではLINEで連絡がくるので、使わざるを得ない。





Gさん（生駒市在住）

30～34歳女性、未婚（パートナーと同居）、大阪市淀川区（賃貸）→生駒市（賃貸）、実家は  
大和郡山市

#### ■ 生駒市に転入した経緯

パートナーが元々生駒市に住んでいた。一緒に住むにあたり、大阪市内で半年ぐらい物件を探していたが、結局、パートナーの家に同居する形で引っ越した。2人とも大阪に通勤している。2人とも場所はそれほどこだわりがなく、大阪市内への通勤にそれほど困らない通勤30分圏内で探したが、希望の物件がなかなか見つからなかった。

私の住んでいた大阪市内の家よりは生駒市の方が良いということで、「生駒市で一緒に住もう」という話になった。

しばらくは生駒市に住もうと思っている。家賃や広さのこともある。ペットを飼いたかったが、大阪市内で希望額以内（家賃が10万円くらい）では、大阪市の端になってしまう所にはあったが、なかなかピンと来ない、ということがずっと続いていた。

#### ■ これまで奈良に住んだ経験

私の実家は和歌山県大和郡山市にある。私が生駒市に引っ越すことにしたのは、実家が近いことも大きい。ある程度は土地勘がある。

#### ■ 住まい探し

住むなら大阪市内か生駒市と思っており、橿原は遠いので考えたことがなかった。

物件はインターネットで調べた。SUUMOなどで検索したが、思うような所がなかった。検索条件は広さ、家賃、ペット可かどうかで絞っていた。ネットで検索した後、不動産屋も回った。ネットに出ていない物件を出してくれるので、その中で絞り込んだ。

古い物件はあるが、古すぎても嫌なので、良い所を選んでいたら、なかなか進まなかった。

ペット可の賃貸物件はかなり少ない。犬は約1割、猫はさらに少ないと不動産屋に言われた。探している人は皆すぐに飛びつくので、どんどんなくなる。ペット可の物件は少ない分、さらに人気がある。今の賃貸住宅はペット不可だが、悩んだ末に一旦妥協した。

住まいを探すにあたって、生駒市のウェブサイトは見なかったと思う。ウェブサイトを見たこと自体はある。

#### ■ 生駒市に住んでみて

坂が多く、駅に行くまでも坂がある。駅へは自転車（電動ではない）を使う。もともと坂が多いイメージがあったが、実際に住んでみると大変だった。

#### ■ 今後について

今のところ坂が多いという環境ではあるが、住むなら生駒市だと思っている。ペット可の物件があるとなお良い。

## ■ 橿原市について

橿原市は人口が多いイメージがある。買い物などで学生のときにダイヤモンドシティ、大きいイオンに行ったことがある。近鉄の大和八木駅周辺の居酒屋にも何度か行ったことはある。ファミリー公園前駅周辺のファミリープールに行ったことがある。それ以外の橿原市のイメージがない。

橿原市は地元のファミリーが多く住んでいるイメージ。“橿原市”に住みたくて引っ越すというより、嫁ぎ先がそこで、結婚して引っ越すということはあると思う。

地元の人が多いというイメージは、付き合いや人間関係などが大変かなと想像する。引っ越しても馴染めるのかと思う。古風なイメージがある。

## ■ 若い世代からみた各市のイメージ

どの市も若い世代、ファミリーや若い夫婦に引っ越して来てもらうために、助成金や補助金があるということは大阪でも見かける。それにプラスして、若い家族が住みやすいイメージが浸透すれば、そうした自治体に行きたいと思う人は多いと思う。

大阪でイメージが良いのは枚方市や北摂（吹田、豊中、高槻など）。周りの新婚の友人にも住みたいという人が多い。北摂地域は、ゆったり、のんびりしていそうなイメージ、北摂は住みやすそうというイメージがある。そういったことで、移住先の候補になる。

奈良は地元の方が住んでいるイメージがある。

生駒は外から引っ越してきやすいイメージ。大阪から近く、乗り換えがなく来られるので、生駒に引っ越してくる人は多いのではないかと感じる。大阪を近くに感じられるので、何となく住みやすい感じ。職場の人に生駒市に引っ越したと言うと「生駒市だったら近いよね」と言われるので、大阪の人にも馴染みがあるようだ。

兄夫婦は2人とも大阪市内で働いているが、少し前に学園前駅周辺に引っ越してきた。ゆくゆくは実家に住むという話だが、子どももいるので、生駒市は便利だし、大阪も近いので、このまま住み続けることも視野に入れているようだ。ただ学園前は家賃がとても高いようだ。

## ■ よく利用する情報媒体

SNS を利用することが多い。土地や地域の話は自分で調べる。新婚世帯がで引っ越たときに、何かメリットがある地域はどこか、補助金があるのはどこかなどをインターネットで調べる。経済的な支援があるのは大きい要素。

情報誌はあまり読まない。以前住んでいた大阪市内でコミュニティ誌が月1回ポストに投函されていた。自分に何かメリットのあることが載っていないかと思って目を通していった。新聞は購読していない。

Hさん（桜井市在住）

40～44歳女性、未婚（友人と同居）、宇都宮市（賃貸）→桜井市（賃貸）、実家は奈良県外

#### ■桜井市に転入した経緯

宇都宮市から支社への転勤に伴って5年ほど前に引っ越してきた。奈良市内にある職場の近くに適当な賃貸物件があまりなく、通える範囲で一番近いのが桜井市だった。橿原市にも良い物件はあったが、会社へ通うのは桜井市の方が近かった。通勤距離が選定の一番大きな要因。車で通勤していた。

宇都宮から奈良に移り住むまでは、奈良がどういった所なのか分からなかった。実際こちらに来てみたら、橿原市の方が、物件が多く、買い物もしやすそうと思ったこともある。

#### ■これまで奈良に住んだ経験

私の知り合いは奈良県には特にいない。両親も関西圏外に居住している。

#### ■住まい探し

宇都宮市にいるときに住まいを決めた。奈良県の状況はよくわからなかった。インターネットで、天理市、桜井市、橿原市の3市で、距離を考えて物件を探した。今もそのときに選んだ住宅に住んでいる（2DKの賃貸住宅）。

引っ越した当時の勤務先は奈良市にあった。奈良市の中心部ではなく、奈良市のかなり郊外となる。桜井市から車で25～30分ぐらい、天理市からも同じぐらいかかる。橿原市や大和郡山市からだと、もっと遠くなる。奈良市内でも探したが、良い賃貸物件が全くなかった。

友人と住もうと思っていたので、駐車場を2台分借りられる、2部屋ある所を探した。家賃は駐車場2台込みで7万円以内と考えていた。

友人は今もその会社で働いている。友人が宇都宮市で勤務している時に仲良くなった。友人が先に奈良に転勤していて、私も移ることになり一緒に住もうという話になった。最終的には現地を見て決めた。詳しくは見られなかったが、駐車場や部屋の広さを見て決めた。友人の実家は奈良市だったが、桜井市に住むことについては異議がなかった。

宇都宮市からだと、奈良県へは泊りがけでないと来られないので居住地を選ぶのが難しい。来たその日に決めないといけない。不動産屋とはメールでやり取りしたので、どのような業者なのかわかりづらく、なかなかうまくいかなかった。物件の中を動画で見せてもらうことができるとよい。「ここを見せてほしい」と言えば、長さを測ってくれたり、通話しながら動画を見せてもらえたりするとうれしい。仲介してくれた不動産屋はそのようなサービスがなかった。遠方からだと、現地に来るだけでお金もかかってしまう。お試し居住のような滞在拠点があれば使ってみたい。

#### ■桜井市に住んでみて

宇都宮市と比べれば、寒さはまだまし。コミュニティ活動には参加していない。

桜井市に引っ越してきてから5年経つが、桜井市への思い入れはそこまでではない。奈良自体の閉鎖的な雰囲気合わないのかもしれない。

## ■ 今後について

友人と2人暮らしをしている。今は退職して、自宅でデイトレーダーをしている。

次は戸建住宅を買いたい。どことは決めていないが、関東の方が何となく住みやすいと思う。

奈良県内で引っ越すのであれば、今とは違う所にしたい。在宅での仕事がメインなので、買い物出来る場所が近い方がよい。今の住まいは10分以上車で走らないと買い物する場所がない。

## ■ 橿原市について

イオンはよく行く。しかし、そのほかでは洋服など、買い物する所が少ない。飲食店も少ない。食料を買う以外に、出かける先がない。アウトレットとか、他の所にはよくあるようなコストコのような店もない。行くとしたら、大阪に行かないといけない。

歴史や文化は結構好きで、桜井市の三輪明神はよく行ったりしている。奈良の鹿も見に行った。

大和三山のことは知らない。今聞いたのでせっかくなので行ってみたい。橿原市の史跡などについては詳しく知らなかった。情報を得ることができれば、せっかく近くに住んでいるのだから行ってみたいと思う。

橿原市の車のナンバープレートが最近変わった。車を買うのであれば、飛鳥ナンバーをつけたい。

## ■ よく利用する情報媒体

一番の情報源はツイッター。行きたい場所を調べたり、スマートフォンで閲覧したりしている。

テレビで奈良の特集をしていけば見る。桜井市や奈良県から月に1回届く冊子には目を通す。

橿原市に行くとなったら、ランチなどの飲食情報を一番よく調べている。ツイッターであれば、おいしい飲食店がこういう所にある、という情報を検索する。関連情報としてイベントやスポットなどの情報があれば、行ってみたいという気になると思う。キーワードを都度入力して検索している。

今井町については全く知らなかった。「桜井市ならここ」、「橿原市ならここ」という情報があれば回ってみるかもしれない。